

登米市迫町の総合建設業、太田組（太田陽平代表取締役）は、市役所で贈呈式があり、太田代表取締役が佐藤市長に目録を手渡した。乗用草刈り機1台と粉砕機1台を寄贈した。昨年に

塩釜市に草刈り機

り機は昨年、手渡した。乗用草刈り機1台と粉砕機1台を寄贈した。昨年に



目録を手にする佐藤市長（左）、感謝状を持つ太田社長（中央）と太田取締役

太田組が2度目の寄贈

は粉砕機1台も寄贈した。太田代表取締役は「市長が通学路の草を刈る姿をSNSで見ている。お手伝いがしたいと昨年に続き寄贈した」と話した。佐藤市長は鎌やチェーンソーで除草していたが寄贈された乗用草刈り機で「作業スピードが増し、大変助かっている。草を刈るとゴミ捨てされるごみも減る市民のためにしっかり活用したい」と感謝を伝えた。市は通学路や公園、緑地など直営で行う除草に使用する。式には太田陽一郎取締役も出席し、記念撮影や懇談で親交を深めた。

太田組

乗用草刈り機など寄付

塩釜市にふるさと納税



左から佐藤市長、太田代表、太田取締役

太田組（登米市 太田陽平代表取締役）は、企業版ふるさと納税を活用し、塩釜市に乗用草刈り機と粉砕機を寄付した。10日に太田代表と太田陽一郎取締役の2人が塩

釜市役所を訪問、寄付贈呈式を行った。贈呈式では、佐藤光樹市長に目録を渡し、市長は「本当にありがたく、そして末永く使わせていただくと、心から感謝した」と謝辞を述べた。

太田組は今年度の寄付について「塩釜市民のお手伝いをしたいと思い、贈呈した。ぜひ市民のために使っていただきたい」と語った。太田組は昨年度にも、塩釜市に草刈り機を寄付しており、今回の寄付は2回目となる。今回太田組が寄付したのはオーレックの乗用草刈り機（77万円）とハイガリーのウッドチップパー（22万円）。市長はさつき草刈り機を使用し、「作業が非常に楽になった」とその性能を称賛した。

太田組は今年度の寄付について「塩釜市民のお手伝いをしたいと思い、贈呈した。ぜひ市民のために使っていただきたい」と語った。太田組は昨年度にも、塩釜市に草刈り機を寄付しており、今回の寄付は2回目となる。今回太田組が寄付したのはオーレックの乗用草刈り機（77万円）とハイガリーのウッドチップパー（22万円）。市長はさつき草刈り機を使用し、「作業が非常に楽になった」とその性能を称賛した。